



No.359

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110-6-97793
定価 50円

イラク撤兵相つぐなか

5・18国会請願



「テロ・ノー」「平和を」求めスペイン全土で一千万人参加！
写真は3・12スペイン東部サラゴサのデモ（ロイター）

主 な 記 事

- 国会請願へ！各地でとりくむ署名活動……………2
- 『治安維持法と現代』感想……………3
- 反戦ツアアレポート（イラク前線の島・沖縄）……………4
- 顕彰碑探訪・本庄陸男の碑……………5
- 時の焦点・ブッシュの破綻……………5
- 抵抗の群像・尾崎孝三郎さん……………6
- 同盟歌壇・碓田のぼる選……………7
- 書棚・『スタディ・ツア』のすすめ市原芳夫著……………7
- 第8回国連要請ツア……………8

新緑の日本列島に走った衝撃、イラクで日本人人質、「自衛隊を撤退させよ」の声が国中をゆるがしました。だが、小泉首相は家族たちとの面会も拒否、チェイニー米副大統領には、「自衛隊撤退せず」と秋波を送りました。五人全員無事解放後、口汚い「自己責任論」の異常なバッシングに、憤激の声がたかまっています。これら若い人たちのイラクでの献身的活動こそ真の人道支援、アメリカの意を体して無法な戦争と占領に協力する自衛隊派兵こそ糾弾されるべきです。

いま、アメリカの無暴への抵抗と非難はますますたかまり、スペイン軍撤退、ドミニカ、ホンジュラスなど撤退決定、撤退検討中が続出。まさに「撤兵ドミノ現象」です。それでも小泉内閣は、ブッシュ政権にだけ顔を向けて「自衛隊撤退せず」をくり返します。国会に出された有事法制法案・条約案の、米軍との共同戦闘と国民敵視の危険な本質が浮彫りにされています。

「自衛隊はイラクから引き揚げよ」「平和憲法守れ」「有事法案撤回」の国民的たたかいをさらに大きくしていくべき重大時期です。まさにその時、同盟の国会請願（五・一八）がおこなわれます。「戦争する国にさせるな」、先達たちの苦闘をかみしめながらの一筆、一筆を、最後の一分まで頑張りましょう。

国会請願へ！

各地でとりくむ署名活動

会長を先頭に目標達成へ

青森県

全体で目標の九三％を越えています。国会請願には目標を達成してわが県国賠同盟の女性委員会顧問の高橋ちづ子衆議院議員に届けたいとがんばっています。

青森県の署名活動の先頭に立っているのは九六歳になる五味迪子会長です。五味さんはいつも署名用紙をもってこつこつと訴えています。ブロック会議まではいくら、年内にいくらなど自分の目標を決め執念をもって集めているようです。今年度もすでに三九〇筆まできました。こうした活動に刺激され病院にリハビリに通っている高齢の女性会員も待合室で集めた署名を届けてくれました。できるだけ多くの会員に参加してもらいたいと五名の用紙と返信用封筒も届けています。思いがけない方からも返事がくることもあります。でもまだまだ限られた会員に止まっています。それは激動の情勢の反

映で会員が所属する各民主団体の活動に忙殺されて、なかなか国賠同盟の活動に集中できないのです。それぞれの要求や運動と国賠同盟の署名活動と結合できればいいと思いますが、まだ成功していません。一番の悩みは病気や高齢化で事務局の行動力が低下していることです。(富樫秀雄)

支部の活動を基礎に

神奈川県

三月二十八日、春の県民大集会(横浜公園)に一四名が署名活動に参加、七〇〇筆の成果をあげ、黄色いのぼり旗をかがけてデモ行進しました。

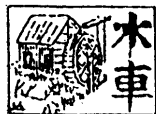
四月十三日の第四回署名推進委員会(九名出席)で、目標二万に對して約八千筆の残、五支部のそれぞれに到達数も自主目標の四割から九割というアンバランスを確認。四月十五日発行「不屈」県版の増本会長「五〇万署名の目標達成に最後の奮起を！」活用して、

会員一人一〇署名運動を広げる。「不屈」手配りの二支部は会員に直接話しかけ、郵送の三支部は電話などで訴える、県直属の会員には会長の手紙と返信封筒を郵送するなどを決めとりくんでいます。



四月十六日、「野呂栄太郎没後七〇周年記念の集い」を県労働者学習協会と共同主催、約一〇〇名の参加者。

会員にビデオ「野呂栄太郎の革命的生涯」、「資本論講座」の講師を続けている宮川彰都立大教授の記念講演「野呂栄太郎と日本資本主義」、増本会長の閉会挨拶。



6月24日の参院選
公示まで一カ月余。

政権を競い合う似たもの同士の二大政党の流れが押し切るのか、革新が巻き返すか、激しさを増してきました▼日本の選挙

制度の歴史。大きく三つの時期に分かれます。第一期は一八八九年(明治22)から一九二五年(大正14)の普選実現まで。有権者は直接税15円以上納税の25歳以上の男子に限られた制限選挙。有権者は僅かに四五万人(明治23年)でした▼第二期は敗戦までの男子普通選挙の時代。納税要件を廃止し25歳以上の男子すべてに選挙権が与えられ、有権者は一二四〇万人(昭和3年)に▼第三期は新憲法のもとでの完全普通選挙。年齢が20歳に引き下げられ、女性の参政権が実現しました。昨年の衆院選での有権者は何と一億〇二三万二九四四人でした▼先達が血みどろのたたかいと犠牲によって勝ちとってきた選挙。参院選で国民が主人公の政治に道を開く勝利をなんとしても勝ちとらねばなりません。(S)

「日本共産党の現状分析、理論の確かさの歴史には、野呂栄太郎の闘いがあつたのだ」などの感想が多く寄せられた。

二十四日「第九回常任幹事会」(一九名出席)では、五月十八日までのツメを議論。メンバーには各支部地元参加、宣伝に工夫し署名数を飛躍させることを確認。

(横川定司)

役員が署名運動の先頭に

福岡県

福岡県本部は四月六日の理事会で、署名の到達状況を検討し、二万筆、七〇〇団体署名達成を「必ずやり遂げる」と全員一致決議しました。四月十日から五月十日までを「国会請願署名二万筆、団体署名七百団体達成、会員拡大特別月間」として、とくに四月のとりくみを重視。各支部ごとに要請目標を合計七千筆を示して、県本部役員が、九日の筑波支部理事会、十二日の福岡支部理事会、二十一日の大牟田支部に出席して、支部目標達成を一緒に協議しました。

その他の四つの支部にも県本部役員が方針を徹底しました。四月二

十一日現在、個人署名一四、〇〇〇筆、団体署名四三〇団体。労働組合民主団体に再度依頼するとともに、集まった署名の回収を急ぐ。

『不屈』県版、各支部版、週一回の推進速報で、県、支部役員と全会員に活動状況、署名到達状況を知らせ全会員の署名運動になるよう働きかけています。とくに各支部の五月十八日の国会請願代表八名と、八月国連要請に参加する六名の同盟員、役員は署名推進運動の先頭に立っています。五月八日は国会請願代表の壮行、学習会を諫山博会長を講師にテーマは「国会請願の意義と実際」で準備しています。

(橋本幸夫)

●福島県で意見書採択

昨年六月議会で小高町議会が国賠同盟の意見書を採択したのに続き、今年の三月議会では川俣町、鏡石町、塩川町の三町議会が意見書採択、また北塩原村議会で趣旨採択となり、これで福島県では意見書を提出した自治体は二市一〇町村、全国では趣旨採択を含め三四二市町村となりました。

『治安維持法と現代』感想

ずっしりした読後感

東京 井上 幸男

憲法、「国民保護法」、教育基本法、教科書問題など、焦眉の課題を詳述し、私たちの運動に大きな示唆を与えてくれる諸論文。戦前の横浜事件、在朝鮮日本人教師にたいする弾圧事件の解明などなど、好企画満載の「春季号」にまじらず圧倒される。

巻頭論文で奥平康弘氏は、いま憲法は「かつてない岐路」に立たされているが、岐路のうち「どっちをとるか」の責任は、結局において私たち市民に帰せられることになる」と指摘している。この言葉のもつ意味はずっしりと重い。同盟員はもちろんのこと、多くの人たちに一読をおすすめしたい。

七号を読んで

神奈川 横川定司

憲法九条が「岐路」に立っていると、その選択の責任は私たち市民に帰せられる、という峻厳たる論理を逃れることはむずかしい」という、憲法学者奥平氏の問

いかけは重い。

戦前、戦争と平和の「岐路」の選択に、当然の理性と良心の道として生命をかけた自覚的闘士、野呂、西田両先達の不屈の生涯は、私の胸をうつ。

朝鮮、台湾の抵抗闘争の紹介は同盟会員の労作。旧植民地での抗日闘争は系統的にのせてほしい。わが県本部女性委員会は学習にこの雑誌を活用している。

顕彰運動の大切さ

和歌山 引地延子

岐阜支部女性部の記事を読み、女性部のきめ細やかな気配りと活発な活動が支部の牽引車となっている様子が目に浮かびました。

私たちも、先覚者を顕彰し、次代に引き継ぐことが大切な役目と、先日、一九四四年治安維持法で検挙、投獄された「北川宗蔵教授に学び愚ぶつどい」を開きました。顕彰部の予想をこえた三百名余の参加があり、今更のように先覚者の偉大さを知り、御遺族からの権力者への怒りの言葉を聞き、いまふたたび暗黒の時代へ逆戻りさせないためにも同盟活動の重要性を改めて噛みしめています。

反戦ツアーレポート

東京都本部はこのほど、反戦ツアー「沖縄の旅」を行い、島南部の戦跡を訪ね、北部の基地群を見ました。初夏を思わせる陽光のもとハイビスカスやブーゲンビリアが咲き乱れ、澄明な海に囲まれた一見平和そうな沖縄本島は、底深い戦争の影を落としていました。同盟県本部の幹部の皆さんと交

流し、日米安保の熱い焦点となっている名護市辺野古の浜に建つ団結小屋を訪ねました。

戦争を身近に感じた戦跡めぐり

沖縄は太平洋戦争の悲惨をいまに伝え、訪ねた私たちを五十数年前に引き戻すようでした。

1945年4月1日、50万余の米軍が沖縄に上陸、「鉄の暴風」と言われた砲爆撃が全島に降りそ

イラク前線の島・沖縄

戦争を身近に感じた旅

そぎ、9万4千の将兵と、その数よりも多く住民四人に一人が犠牲になったと言われます。

砂糖黍畑のつくづく島の南部をめぐり、ひめゆりの塔、平和の礎、摩文仁の丘、数々の慰霊碑に参り、住民が避難したガマ(洞けつ)に入りました。

「平和の礎」二十数万の犠牲者の名を刻んだ黒御影石の列柱には、今も新たに判明した死者の名が刻みつけられていると言います。

砲爆撃と火炎放射器に追い詰められ、千数百人が息をひそめて隠

れたという系満市伊敷の「轟の壕」(ガマ)に入りました。丘の割れ目のような谷底まで、45度くらい急な崖を下り、鍾乳石の垂れ下がった真つ暗がりのなかを、懐中電灯を頼りに這うようにして奥深く入り、戦争の悲惨を追体験しました。

四月七日、サンゴの碎片が散らばる辺野古の白浜に立ちました。そこは一本の有刺鉄線が浜を切り裂いていました。この有刺鉄線の向こうは米海兵隊キャンプシユワブ基地です。

キャンプハンセンとともにここで訓練した第5海兵連隊がイラクに派遣され、ファルージャでモスクを破壊し、六百人以上の住民を虐殺したのです。沖縄はイラク前線の島だったのです。

その日、沖縄県が海上基地建設のためのボーリング調査を許可したという報告がとどき、団結小屋は怒りに包まれました。

その後の新聞報道では、県民の反対行動でいまだに調査は進行していないと言います。4月22日、辺野古の浜に全県から約400人が結集して、ボーリング調査反対、即時中止をもとめる集会が開かれました。

「この美ら島に基地は要らない
ジュゴンと泳ぎ睦みあう
この洋この磯いつまでも」
ジュゴン ジュゴン
平和の使者 ジュゴン

(上山青一詩集「青の島影」より)
(東京都本部・佐藤滋朗)



「写真」辺野古の浜を切り裂く有刺鉄線には「海上基地反対」「自衛隊はイラクから撤退しろ」などの短冊が結ばれていた。その向うは立入禁止のキャンプシユワブ。

顕彰碑

||||||| 探訪

北海道・石狩支庁当別町

プロレタリア作家

本庄陸男の碑



汎)

(同盟北海道本部 宮田

年。当別町では七月一六

八日。井上ひさしの記

念講演などを企画してい

ます。

(同盟北海道本部 宮田

汎)

年。当別町では七月一六

八日。井上ひさしの記

念講演などを企画してい

ます。

(同盟北海道本部 宮田

汎)

年。当別町では七月一六

八日。井上ひさしの記

念講演などを企画してい

ます。

(同盟北海道本部 宮田

汎)

年。当別町では七月一六

八日。井上ひさしの記

念講演などを企画してい

ます。

(同盟北海道本部 宮田

汎)

年。当別町では七月一六

八日。井上ひさしの記

念講演などを企画してい

ます。

(同盟北海道本部 宮田

汎)

相次ぐ撤兵

四月九日シンガポール軍一九一

人がイラクより撤退したのを皮切

りに、撤兵を決定または検討をす

すめている国が、将棋倒しのよう

に相ついでいます。

四月現在、一四三二人のスペイ

ンをはじめ、ドミニカ、ホンジュ

ラス、ニージーランドが撤兵を

決定し、タイ、フィリピン、ボル

トガル、ノルウェー、ポーラ

ンドなどが撤退を検討中とい

われます。

国連に背を向け国際

法を踏みにつけて強行

した、ブッシュのイラ

ク戦争と占領支配。専

制、独善、孤立の実態

をおおいにくすため

に、米英両国の従属国や支配

国を集め、四七カ国の支持と

そのうち約三〇カ国の派兵でいわ

ゆる「有志連合」をでっちあげま

したが、攻撃開始一年目にして、

いまそれがガタガタに崩れようと

しています。

その契機となったのが、米軍に

よるバグダッドの西のファルージ

ヤでの市民大量虐殺。町を包囲し

寺院に避難した市民を砲撃し

て、子どもをふくめ六百人の命を

奪いました。蛮行に直面してイス

時の焦点

ブッシュの破綻

ラム教のシーア派とスンニ派が共

同した、占領軍への抵抗運動がイ

ラク全土に広がりました。各国の

撤退は、派遣部隊の安全の保障と、

米軍のみな殺し作戦を非難、忌避

する態度の表明でありました。

ついに音をあげて国連に

大義なき侵略戦争に完全に行き

詰まったブッシュは、ついに「国

連提案を歓迎する」とか「国連と

ともに働く」などと言いつつ

て、不遜というか恥知らずと

いうか、これまで足蹴にして

きた国連に事態收拾の救いを

求めました。現状に即して国

連が提案したイラク再建・復

興の政治的プログラムは、い

ま注目を集めています。

① 国連ブラヒミ提案

米英など連合国暫定当局

(CPA)が任命したイラ

ク統治評議会の解散

② 五月中に国連主導の暫定政権

をつくりCPAの権限移管

③ 来年一月に選挙実施、新政権

樹立

国連事務総長特別顧問ブラヒミ

試案の骨子ですが、詳細は五月中

公表の予定です。

いずれにしてもブッシュの破綻

は明白で、全面崩壊の予兆を感じ

させます。

(元)

抵抗の群像

「二度と戦争をゆるさない」決意 地方議員四十五年の偉大な業績

尾崎孝三郎さん

大阪 木寺鶴夫



尾崎孝三郎さん(大阪府本部副会長・堺支部長)は、一九二〇(大正一〇)年二月十八日、日本共産党創立の年、兵庫県山崎町に生まれました。父は山崎町の農家出身、大阪へ出て北泉尾町尻無川沿いで材木商を営んでおります。

一九三四年(昭和九)年、市岡商業入学、三九年、大阪商大高商部へ入学し、水泳部で体を鍛えると共に、各種の本を読みあさり、市岡商業時代からの友人、平井都士夫氏、森龍実氏らと社会主義の勉強をし、上林貞治郎先生のゼミナール工業経営論やマルクス経済学を講義する先生の影響を受け、その正しさを確認しました。一九四一年太平洋戦争、十一月には学校を繰り上げ卒業し川西航空機へ

倉庫係として就職し、四二年、二十歳で徴兵検査を終え十二月に西部第百部隊へ入隊、高射機関銃隊の訓練を受け台湾へ送られました。台湾では米グラマン戦闘機と交戦、沖縄への特攻隊も見送り、戦争が長引けば特攻隊を命令され玉碎していたかも知れません。

二人の親友の忠告
この陸軍入隊前夜に、親友の平井、森の両氏が来て、「この戦争は不正義の帝国主義戦争であり、二三年で敗北するから決して大死するな。戦地では塹壕交換をし、部下を引き連れて降伏しろ」と忠告を受けました。この二人は大阪商大事件で投獄され、森龍実さんは獄死しました。尾崎さんも軍隊へ入隊していなければ二人と同じように投獄されていたでしょう。

一九四六年二月復員。「二度と戦争の犠牲者を出さない。商大事

件で獄死した森龍実君を想い、治安維持法等の悪政を許さない」決意で十一月に日本共産党に入党。四六年七月、草尾村大実野(現堺市)に移転、戦後の生活苦に耐えながら、自治体民主化、重税反対、労組づくり、農民運動、平和運動、電力管理停電をなくす運動など住民要求実現をめざして南河内を自転車で行き回り活動しました。

一九四九年一月、加藤充弁護士をサポートし、衆議院大阪四区で当選を勝ち取り、全国で三十五人の共産党議員が誕生しました。しかし、米占領軍は日本人民の闘いを弾圧し始め、当時共産党地区委員長であつた尾崎さんも逮捕を危うく逃れ、自宅には帰らず自転車で行き回り活動しました。

議員活動四十五年

一九五〇年、野田村、大草村が合併し登美丘町が誕生し、共産党は町会議員二人を当選させ、尾崎さんの町議三期、堺市議九期計四十五年にわたる議員活動が始まりました。登美丘町議の一九五二年、堺市との合併問題で「八幡(新日鉄の埋立地進出)にくわれる堺市合併反対」闘争の先頭に立ち、合

併は強行されましたが、町民の大きな支持を得て合併後の定数二の市議補欠選挙ではトップ当選を勝ち取りました。

登美丘町議時代、民主書店を開業し、革新思想を広げ深める活動にも進出、これは堺市内での民主書店の先駆けとなりました。

その後、一貫して地域住民の立場に立ち、公害反対、保育所運動など市民要求実現の先頭に立つて奮闘し、特に、黒田革新大阪府政誕生の原動力となったと言われる公害反対運動で果たした役割は大きなものです。堺市議会では副議長、厚生委員会・民生経済委員会委員長等を勤め、堺市政でも大きな役割を果たしました。

一九九五年の議員退任後は日本共産党の地域支部での活動に取組み、また、治安維持法国賠同盟の堺支部の設立、同支部長として一万筆を越す国賠署名を集約し、大阪府本部副会長、堺支部長として活動を続けていました。

しかし、昨年末大阪府知事選挙、新梅田候補のピラを各戸配布中、心筋梗塞を発症し、今年一月十六日逝去。偉大なたたかいの生涯を閉じました。

同盟歌壇

碓田のぼる選

千葉県 行木 権平

ヴァージニアの美人兵士を祭り上げしデジタルの世の戦争神話
ファルージャの銃撃音は居間に響き雨にうたれおり海棠のはな

評 デジタルとは数量を数字を用いて表わすことを言うが、こ
こでは情報化された時代の意味をこめていよう。情報操作によって戦
争の悲惨から目をそらせることを「神話」と批判している。添削
の中心は、後歌の下句原作の「雨にぬれたり」

テロリスト、ヴェトコン、匪賊、アカ、非国民「治安」策すみな謀略
の語彙

戦禍の苦を分たん人の健気さも悪しざまに言うか好戦の徒は

評 五つの名詞を連ねて一つの批判を打ち出したところが面白
い。いずれも反動化、戦争国家へと向う点での共通語。作者の心は
イラクと日本の現状を重ねている。後歌原作は「戦禍の苦を分かち
あう人の健気さをつゆ思わぬか好戦の徒は」であった。

東京都 若林 義文

萌え出づる草木と共に池面には日差し届きて目高みゆるも
倒れゆく兵を相次ぎ馬車に積む饑餓の部隊を今に忘れず

評 一首目は素直な自然詠である。草木も萌え出して来て、池を
見ると春の暖かな日差しの中に目高の泳いでいるのも見えた、とい
うのである。後歌の原作は「倒れゆく兵を相次ぎ馬車に積む食糧断
たれし最後の部隊」であった。作者の現在が欠けていた。

静岡県 江川 佐一

劣化ウランに苦しむイラクのこどものこと米軍帰還兵らに強く言いた
し

長屋住みの朝鮮人らと遊びしを咎められしわが少年期あり

評 歓迎されながら自国に帰る米兵らに、非人道的な劣化ウラン
弾使用によって苦しんでいるイラクの子どもたちを思へと強く抗議
している。一首目原作は「かつてわが少年期とき長屋住み朝鮮人ら
と遊びしを咎むる」。改作は作者の意とズレたかも。



『スタディ・ツアーのすすめ』

市原芳夫著

岩波ジュニア新書 本体七四〇円

「スタディ・ツアー」。旅先の
紹介本は書店にたくさん溢れてい
ますが、「学ぶ旅」として高校生
向けに書かれた本は珍しい。

今、高校生の間に広がっている
自立への旅立ちとか、体験ツアー
に役立つのはもちろんですが、私
たち大人にもあらためて旅の魅力
に引き込まれてしまふ書です。

ページを開くと、初めに「沖縄
―エメラルド色の海と平和学習―
「ベトナム―アジアの現代史と日
本の役割を学ぶ」、そして「最後
の清流―四万十川」の三つを紹介
して旅にとって平和の大切さと、
大自然とともに生きる世界の人々
とのふれあいのすばらしさをつた
えてくれます。読み進むうちに、
「あつ、そうか、旅は文化なんだ」
ということを教えられました。

「旅は人を大きくする」「発見
こそ旅の収穫」と著者は旅の持ち
味を紹介しています。国内では味
わえない他民族の生活文化とのふ
れあい、外(世界)から見た「日
本」の新発見など、旅は人生にと
つてかけがえのない糧(文化)と
なることを知りました。
著者は、これまでの海外旅行ブ
ームの多様化と個人化する傾向を
要領よく紹介しています。なかで
も、平和、環境、福祉といったテ
ーマを持ったツアーがふえている
こと、とくに戦争と平和のテーマ
にかかわって、アウシュビッツ強
制収容所やヨーロッパの反ファシ
ズム抵抗運動の顕彰ツアーなど、
過去の戦争の悲惨な歴史が、旅を
つうじて現代日本との接点に迫っ
てくることを紹介しています。
毎年取り組んでいる私たち同盟
の「国連ツアー」も、国連はじめ
国際的な平和と人権、文化の交流
を続けていますが、その意味で本
書は、高校生だけでなく大人にも
必要な旅の文化・教養書になっ
ていると思います。加えて旅の心得
や旅の準備まで記述されていて、
旅のポケットブックにもなること
でしょう。

(信)

第8回国連要請ツアー旅程表

日(曜)	都 市	摘 要	〈宿泊地〉	食
① 8月3日 (火)	東京成田発 ジュネーブ着	午前:空路ヨーロッパ内の都市で乗り継ぎスイス・ジュネーブへ 夕刻:ジュネーブ到着 ジュネーブ泊	Cコース 8月3日から6日までジュネーブ滞在となります。 Cコースをお選びいただいた方は、8月7日以降ご希望の日にジュネーブを発ち航空便でヨーロッパ内都市を経由して帰国の途につきます。ご希望に応じて帰国便の手配をいたします。 詳細は旅行社担当者に お問合せください。	機 機 ×
② 8月4日 (水)	ジュネーブ	午前:国連(パレナシオン)の見学 午後:国連にて、ランチブリーフィング 夕方:ジュネーブ旧市街見学 ジュネーブ泊		B ×
③ 8月5日 (木)	ジュネーブ	終日:国連人権委員会への要請行動 OP1 シャモニ・モンブランツアー ジュネーブ泊		D ×
④ 8月6日 (金)	ジュネーブ	終日:国連人権委員会への要請行動 ご希望の方は、近郊のシオン城やローザンヌへ。 夜:「ジャパン・デー」 ジュネーブ泊		B ×
		A コース	B コース	
⑤ 8月7日 (土)	ジュネーブ発 ハーグ着	午前:空路乗り継ぎ、 オランダの第三の都市ハーグへ 着後:市内のホテルへ ハーグ泊	ジュネーブ発 クラクフ着 午後:クラクフ中心部の見学 パバル城、 旧市庁舎、大聖堂 クラクフ泊	B 機 D
⑥ 8月8日 (日)	ハーグ	午前:ハーグ市内見学 平和宮(司法裁判所)、李鴻章博物館 「対日道義請求財団」 ハーグ泊	終日:アウシュビッツ強制収容所 とマイダネク第2収容所の見学 クラクフ泊	B L ×
⑦ 8月9日 (月)	ハーグ発 アムステルダム着	午前:自由行動 午後:陸路、首都アムステルダムへ アムステルダム泊	午前:自由行動 午後:陸路、首都ワルシャワへ移動 ワルシャワ泊	B ×
⑧ 8月10日 (火)	アムステルダム	終日:アムステルダム市内見学 アンネフランクの家、レジスタンス 博物館、旧市街めぐり アムステルダム泊	終日:ワルシャワ市内見学 ワジュンギ公園、旧市街、聖十字 架教会、パルバカン(砦) *宮殿でピアノコンサート ワルシャワ泊	B L ×
⑨ 8月11日 (水)	アムステルダム	終日:自由行動 美術館、博物館めぐりや「水の都」 でのクルーズなど アムステルダム泊	終日:自由行動 OP2 パロク様式のヴィヌヌ宮 殿の半日ツアー ワルシャワ泊	B ×
⑩ 8月12日 (木)	アムステルダム発	午前:空路ヨーロッパ内都市を 乗り継いで帰国の途へ 機内泊	午前:空路ヨーロッパ内都市を 乗り継いで帰国の途へ 機内泊	B 機 機
⑪ 8月13日 (金)	東京成田着	午前:成田到着	東京成田着	機 ×

B=朝食付、L=昼食付、D=夕食付、機=機内食 OP=オプション・ツアー (希望者参加の小旅行、別途料金)

各国NGOとの交流を深めよう

ジュネーブ国連活動の第一日目 大きくなるでしょう。

にはNGOブリーフィング(同時 一昨年の「ジャパン・デー」は通訳付き)を持って各国のNGO 憲法九条の朗読や日本の歌と大漁と国賠同盟の訴えを交流し合います。 節。 昨年は浴衣で盆踊り、抹茶サ。 「ジャパン・デー」は六日夜。 イビス。 憲法九条はパンフの中に十カ国前後のNGOが集まりま も入れました。 スイスのヨーデルす。 今年には国際人権活動日本委員 も出演し文化交流も一層盛り上げ会の仲間たちも参加、連帯の輪が りました。(島袋)

計 報

中央本部事務局次長

島袋達男さん急逝

四月二十七日夜、くも膜下出血で緊急入院されましたが、三十日午後〇時三十一分逝去されました。六五歳。生前の同盟運動への貢献に感謝し、謹んで哀悼の意を表します。

●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌

『治安維持法と現代』

2004年春季号
好評発売中

【主な目次】打って出よう!日本国憲法もって(奥平康弘)、「国民保護法」とは国民統制動員法(内藤功)の他、教育基本法論、「つくる会」の動向(依義文)、横浜事件と人権(橋本進)、野呂栄太郎、西田信春、上甲米太郎論、植民地台湾の支配と抵抗。【特集】太平洋戦争—昭和天皇と原爆開発計画、学徒出陣、撫順戦犯管理所、有事法制をとりあげる。「話題を読む」、犠牲者顕彰活動、短歌、俳句など多彩に収録。A 5版156頁、定価1000円、送料270円。

制作・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟